

## 第3学年西組 音楽科学習指導案

### 「目指せ！日本一の歌い方 ～『ふじ山』～」

学習指導者 高口 佳子

#### 1 学級（34名）の実態

##### （1）共に学びを進め合うことに関する学級の実態

質問紙調査の結果を見ると、音楽科の授業で、分かったことから次の疑問や考えたいことを見付けている子供は20名だった。振り返り場面の様子を見ても、本時できたことや分かったことの記述や発言は見られるが、それを基に次時にしたいことを見いだしている子供の様相は少ない。また、解決場面で「友達はどうか考えているかな」と考えている子供は24名いる。考えの交流は積極的に行っているが、その際、その考えに至った理由を尋ねる様子はあまり見られない。

##### （2）本題材の学習に関する学級の実態

歌唱の授業が好きだと感じている子供は33名いる。その理由として、「いろいろな歌が知れて楽しい」「元気になる」というものが多かった。実際の歌唱の様子を見ても常に全力で元気よく歌っている姿が見られる。しかし、自ら音楽の構造を意識して強弱を付けたり、曲の山を考えたりしながら工夫して歌っている様子はあまり見られない。

#### 2 本題材で習得を目指す「次の問題を発見する」方法

これまでにできたことと、達成したい目標とを比べる

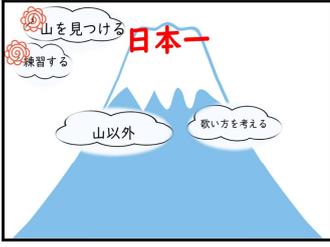
#### 3 本題材で目指す「共に学びを進め合う子供」の姿

音楽会に向けての練習や他校の発表の様子を思い出したり、小学生日本一の合唱を聴いたりしてどんな歌い方が上手だったかについて考えを出し合うことで他の曲でも曲想に合った歌い方をしたいと、「曲の特徴を捉えて、曲想にぴったり合った日本一の歌い方を目指そう」と目標をもつ。その後、題材である「ふじ山」を聴き、「『ふじ山』にはどんな特徴があるのかな」「日本一の歌い方をするために曲のイメージ（曲想）に合った歌い方をするにはどんな工夫がよいのかな」などと問題を発見し、目標に向けて必要なものを課題として設定していく。そして、これまでの歌唱の学習を想起することで工夫して歌うためには歌詞と旋律から音楽の構造を理解して曲の特徴を捉え、それに合わせて歌うとよさそうだと解決の見通しをもつ。その後、例えば曲の山がどこかグループで考える際には「山はここだと思うよ」「どうしてそう思ったの」「音符をなぞると山の形になったからだよ」「なるほど。今までも盛り上がることを強く歌ったね。山のとっぺんを一番強く歌ってみよう」「高いドは三箇所あるよ。全部強く歌えばいいかな」「歌詞を見ると『ふじは日本一の山』が出てきて、題名が入っているからこの部分が一番歌詞の中で大切なところじゃないかな。ちょっと歌ってみよう」「確かに。歌詞と旋律の特徴を併せて気持ちを盛り上げて歌うために強く歌うといいね」「〇〇さんの意見がよく分かったよ。もっと練習しよう」などと、捉えた曲の特徴を基に曲の山について吟味していく。そして、どのように歌うかについて思いや意図をもった歌い方を目指すとともに協働のよさや自分が友達の学びに貢献できたことを実感していく。振り返り場面では、本時の課題について個人やグループで振り返る。その中で「『ふじ山』で一番の曲の山が分かったね」「うん。友達と一緒に考えたから今日の目当てが達成できたよ」と分かったことやできたこととその理由を振り返る。その後「でも、日本一の歌い方にするためには他に必要なことはあるかな」「そうだね。一番の曲の山ばかりに意識がいったけれど、その他のところも工夫して歌うとよさそうだね」「次は山以外の歌い方も考えていくと日本一に近づくかな」などとできたことと目標とを比べて次の問題を見だし、次時の活動への意欲を高め、日本一の歌い方に向けて曲想に合った歌い方について考えていく姿を目指す。

#### 4 達成意欲を高める目標共有の工夫 ①時

坂出市音楽会へ出演するために練習を重ね、日々演奏が上手くなっていったことを振り返る。合唱の日本一を決める大会があることを伝え、興味をもって小学生日本一の合唱の動画を視聴し、自分たちの演奏と比べる。どちらも曲想に合った歌い方をしていることに気づき、違う曲でも曲想に合わせて歌を歌いたいと思いを高め、「曲の特徴（リズム・メロディ）を捉えて、曲想にぴったり合った日本一の歌い方を目指そう」と目標を立てる。そして「日本一」にぴったりの曲である『ふじ山』を歌うことを提案し、「日本一の歌い方」について考えていくことへの意欲を高める。

#### 5 題材計画と方法の習得の段階に合わせた手立て（本時 2/4）

次	題材計画	方法の習得の段階に合わせた手立て
	<p><b>① 『ふじ山』の曲を聴いてどんな曲か知ろう</b></p> <p>音楽会の写真を見て、当日の演奏の様子を思い出す。自分たちの演奏ががんばった点や他校の演奏のよかった点を発表し合い、曲に合った歌い方ができていたことを捉えたり、小学生日本一の演奏を聴き、自分たちの演奏と比べて整理したりし、「曲の特徴を捉えて、曲想にぴったり合った日本一の歌い方を目指そう」と目標を共有し、『ふじ山』を聴く。そして、範唱を聴いたり、歌ったりしてどのように歌いたいかわかぬ曲想を感じ取る。これまでの歌唱の活動で、情景を思い浮かべて歌うために、歌詞と旋律から音楽の構造について考えを深めたことを振り返ることで、曲の特徴を捉えるための視点を共有する。また、歌の盛り上がりについて想起する必要を感じ、既習曲の『ひのまる』を歌い、曲の最高音に向けて盛り上がり、強く歌ったことを振り返る。友達の考えを知ったり自分の学びを深めたりできるというグループ活動のよさを共有し、目標を達成するために解決すべき問題を見付ける。</p> <p><b>② 『ふじ山』の一番の曲の山を見つけて歌おう</b></p> <p>前時に捉えた音楽会で聴いた演奏や小学生日本一の演奏は曲想に合った歌い方をしていたことを思い出したり、前時に見付けた問題を基に『ふじ山』でも曲の山を見つけて歌おう」と学習課題を設定する。そして、グループに分かれて音楽の構造の理解を深める際に、既習事項を生かして歌詞や旋律を手掛かりにすると見付けやすくなるということを共有し、グループで特徴を見付けていく。音符の符頭を線でつなぎ、山なりに盛り上がる線があることを見付け、いくつか盛り上がりがある中で、一番の山を見付けるために、録音機能を活用し、歌ったり録音を聴いたりしながら一番伝えたい言葉と重なる部分を見付け、一番力を込めて強く歌いたいところである曲の山に合う歌い方を吟味する。振り返りの場面では、分かったことやできたこととその理由を視点に振り返り、学習の深まりを認識する。その後、できたことと目標を確かめ、まだできていない山以外の歌い方を工夫するという新たな問題を見付け、次時への意欲を高める。</p> <p><b>③ 曲に合う歌い方になるようにもっと工夫しよう</b></p> <p>前時に見付けた新たな問題を基に目当てを設定する。曲の山以外の歌い方はどうすればよいかについて考え、目標達成に向けて歌い方を工夫していく。</p>	<p><b>【認知段階】</b></p> <p>これまでの学習において、学習を振り返った後に、振り返りで出てきた「これまででできたこと」と、「目標」を比べるという「次の問題を発見する」手順を教示している。また、方法を使うことで、次に取り組むべきことややりたいことを見付かるというよさを共有している。</p> <p><b>【想起段階】</b></p> <p>「次にやりたいことを見付けるためにはどうすればよかったかな」と問いかけることで、「これまででできたことと、達成したい目標とを比べる」という方法を想起できるようにする。また、方法を十分想起できていない子供に対しては、グループ内で方法を使っている子供に注目するように声を掛けたり、「富士山ボード」を全体で確認したりすることで方法を想起し、使うことができるようにする。</p>
二	<p><b>④ 見付けた工夫を生かして歌おう</b></p> <p>全員で考えたことを表出しながら歌い、「曲想に合った歌い方をすることが日本一の歌い方である」ということを確認し、本題材のまとめをする。また、本題材で学んだ歌の工夫を生かし、これまで歌ってきた今月の歌なども曲想に合った歌い方になるように気を付けながら歌う。</p>	 <p><b>【2時間目後の富士山ボードの例】</b></p>

6 本時の学習

目標	歌詞や旋律を手掛かりに音楽の構造を理解することを通して、曲の特徴を捉えてどのように歌うかについてグループ内で意見を出し合いながら一番の曲の山を見付け、それに合わせた歌唱の表現を工夫することができる。
----	---

学習活動と手立て	主な子供の意識					
見通し	1 前時の学習を振り返り、本時の学習課題を設定する。	小学生日本一の歌を聴いたけど、私たちの歌い方と違っていたね。		私たちは元気に歌って、どちらも曲に合った歌い方になっていたよ。		
		日本一の歌い方は曲に合った歌い方をすることだね。私たちも『ふじ山』に合った歌い方をするために「山を工夫する」という問題を見付けたよ。				
		『ふじ山』で日本一の歌い方をするために見付けた問題を解決していこう。				
		<b>『ふじ山』の一番の曲の山を見付けて歌おう</b>				
	行動	2 歌い方の工夫を考えて歌う。 (1) グループ交流 (2) 全体交流	グループの友達と協力して、一番の曲の山を見付けて歌い方を考えよう。			
			これまでの歌唱の学習では歌詞と楽譜に分けて考えたよ。	歌詞を手掛かりに考えよう。何を一番伝えたいのかな。	曲の山を見付けるんだよね。強弱を工夫するとよさそうだね。	音符を手掛かりにしよう。音符を線でなぞると山が見えそうだよ。
			歌詞は、富士山のことを書いているね。	富士は日本一の山は1番も2番も同じ歌詞だ。	音符を線でなぞると三つの山ができたよ。	三つの山は全部同じ音だから同じ高さになるね。
			四方の山を見下ろすからとても高い山なんだよ。	歌詞だけで一番の曲の山は見付きそうにない。	山は三つでもいいのかな。他の方法はないかな。	一段目は高いドの音がないからここではなさそうだ。
			楽譜はどうなっているのかな。		歌詞はどうなっているのかな。	
			楽譜は一番高い音は高いドなんだね。	高いドは3回もあるよ。どこにしようかな。	題名が入っている歌詞が一番伝えたいのかな。	四段目がよさそうだよ。歌うと「ふ」に力が入るよ。
歌詞と旋律を合わせて四段目を強く歌ってみよう。			歌うと一番力が入るね。よく見ると四段目だけ長い音符だよ。	二段目も見下ろしている歌詞で強く歌うとよさそう。	他のグループはどんなことを考えたのかな。友達の見聞を聞こう。	
四段目は高い音と一番伝えたいことが重なって、長い音符になっているよ。						
四段目の「ふ」が一番の曲の山になると思うよ。歌ってみると一番力が入るところがここだからだよ。						
振り返り・見直し			3 本時の振り返りを行う。	高いドの音が3つあって迷ったけど友達が教えてくれて分かったよ。		高い音と歌詞の他に長い音も曲の山を見付ける手掛かりになったよ。
	日本一の歌い方を目指してまだできそうなことがあるかな。					
	四段目だけが強くいいのかな。他の段も工夫して歌いたいな。					
	目標を達成するために次にしたいことを見付かったよ。					

評価	歌詞や旋律を手掛かりに、音楽の構造を理解して曲の山を見付け、曲の山に向かってどのように強弱をつけて歌うかについてグループ内で意見を伝え合うことを通して、曲の特徴に合わせた歌い方を工夫している。 <span style="float: right;">【方法：発言、様相、ワークシート】</span>
----	--

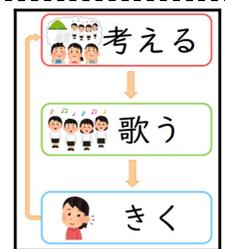
## 7 本時の詳細

### ～見通し～ 学習活動1

題材の目標を想起しやすくするために、前時に捉えた音楽会での演奏や、小学生日本一の演奏を聴いてどちらも曲想に合っていたことを振り返るようにする。そして、教材曲である『ふじ山』を聴いてどのような曲想だったかを思い出すことができるようにし、『ふじ山』の曲想に合った歌い方をするためには曲の山を見付けて、強弱を工夫して歌うとよさそうだと「富士山ボード」の雲（発見した問題）を確認し、『ふじ山』の一番の曲の山を見付けて歌おう」と本時の課題を設定しやすくする。これまでの歌唱の学習を思い出し、歌詞や旋律を手掛かりにすると曲の特徴を見付けやすくなることを共有して解決の見通しをもてるようにする。また、グループで話し合うことで友達の考えを知ったり、自分の学びを深めたりし、みんなで日本一の歌い方に近づけるようにする。曲の山を見付けたり話し合ったりするために、録音機能を活用し、歌ったり録音を聴いたりしながら『ふじ山』にぴったりの曲の山を見付けていくということを共通理解し、課題解決に向かえるようにする。

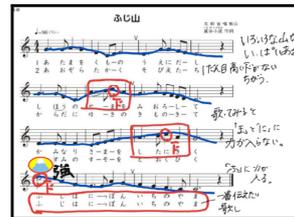
### ～行動～ 学習活動2

目当てを設定した後は、グループに分かれて一番の山を見付けてそれを意識した歌い方の工夫を考えていく。グループで歌詞と旋律一枚ずつのワークシートに書き込みながら、意見を出し合ったり絞ったりしていくことで、友達の意見を聞いたり自分の意見を伝えたりしやすくする。歌詞や旋律に分けて考えるという既習事項を使いながらグループで考える。「歌詞」からは、音読したり段ごとの歌詞を比べたりすることで一番伝えたい言葉などについて考え、「旋律」からは、音符の符頭を線でつなぎ、山なりに盛り上がる線があることに気付き、最高音に丸をかくこと、実際に歌うことで一番力が入るところなどの手掛かりを共通理解しておく。そして、盛り上がりがいくつかある中から歌詞と旋律で見付けたものを合わせて一番の山を見付けるように促し、考えたり録音機能を使って歌ったものを聴いたり「考える、歌う、聴く」を繰り返しながら、一番の曲の山にふさわしい場所を見付けら



【解決の手順の掲示】

れるようにする。歌詞や旋律から分かることを重ね合わせながら、盛り上がりの中で一番の曲の山を見付けていく。見付けた曲の山を視覚的に見やすくするために一番の山には「山シール」を貼り、曲の山を意識して歌い方の工夫を考



【ワークシート (旋律) の例】

ふじ山	
1番	あたまを雲の上に出し 四方の山を見おろして、 <u>見おろす</u> 高い かみなりさまを <u>てにまき</u> <u>高い</u> <u>ふじは日本一の山</u>
2番	青ぞう高く <u>そびえ立ち</u> <u>高い</u> からだに雪の <u>きもきて</u> <u>高い</u> かすみの <u>すそをとおくひく</u> <u>高い</u> <u>ふじは日本一の山</u>

えられるようにする。グループで話し合いながら自分にはない考え方を知ったり、考えのずれに折り合いを付けたりしながら曲想に合った日本一の歌い方を見指すことを通して、協働のよさやグループへの自分の貢献を感じられるようにする。全体交流の場でグループで曲の山についての意見を出し合ったり、まとめたりして一番の曲の山を決めるように促す。また、自分たちの歌い方がより曲の山が分かるように変化していることを価値付けることで、そのよさを実感できるようにする。

【ワークシート (歌詞) の例】

### ～振り返り・見通し～ 学習活動3

振り返る際には、個人の振り返りカードを記入する時間を設けた後グループでも振り返りを行う。学習の深まりを自覚できるようにするため、「学習の初めに比べて歌い方のよくなったところ」を想起できるようにし、分かったことやできたことの原因について振り返ることができるようにする。グループで振り返りを行うことで、自分では気付いていなかったことやまだできていないことに気が付きやすくなったということに気付いている子供を称賛する。その後、「次にやりたいことを見付けるためにはどうすればよかったかな」などと問いかけ、できたことと目標とを確かめ、まだできていないことや取り組みそうなものを見付けられるようにする。その際に「富士山ボード」を使って、達成できた雲は上げて整理し可視化することで目標に向けてまだできていないことを明確にし、「曲の山以外の歌い方を工夫しよう」という次の目標を見いだし、完成に向けて意欲を高められるようにする。

ふじ山 振り返りカード	
振り返りポイント	① 分かったことやできたこと ② 分かったことやできたことの原因
振り返り内容	曲の特徴を見つけて、曲にぴたり合った日本一の歌い方を見つけたこと 「ふじ山」の一番のよさの山を見つけて歌おう。
振り返り結果	① 山の高さを意識して歌ったこと ② 伴奏に合わせて歌ったこと

【振り返りカードの例】

